

中学校・第2学年・音楽科・豊かな表現を目指して①

福岡県提供

育成を目指す資質・能力

- 「花（武島羽衣 作詞、滝廉太郎 作曲）」、のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「花」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。【思考力、判断力、表現力等】
- 「花」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で「花」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。【知識及び技能】
- 「花」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。【主体的に学習に取り組む態度】

ICT活用のポイント

- ICT端末にヘッドセットを装備し、模範演奏を聴きながら一緒に歌ったり、自分の歌声が思いや意図に合っているか確認したりする。
- 自分の歌っている様子を録画・視聴することにより、自分のパートの音程や歌う時の表情など、自分の課題を見つけ解決方法を探る。
- 学習支援システムを用いた交流を行うことで、意見交流の共有性を高める。

学習の流れ

「花」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいなどに関心をもち。

「花」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じるとともに、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽表現を創意工夫する。

創意工夫を生かして「花」を歌う

事例の概要

- ① 学習支援ソフトで課題や資料を配布する。
- ② ICT端末で「花」の演奏を鑑賞し、知覚・感受したことをスライドに書きこむことで共有する。
- ③ ICT端末で「花」の模範演奏を聴きながら一緒に歌う。
- ④ 自分の表現を撮影し、自身のパートの旋律や、表現したいイメージに合っているか確認する。
※ ③、④を往還する
- ⑤ 撮影した映像をドライブに保存・整理し、ポートフォリオを作成する。
- ⑥ 楽譜に表現したいイメージ（思いや意図）を書き加える
- ⑦ 他者と演奏を相互聴取（交流）し、よい点や改善点について意見交流する。
- ⑧ 自身の以前の演奏と聴き比べ、演奏の変容や学習の過程を振り返る。
- ⑨ 次時の見通しやめあてを立てる。

中学校・第2学年・音楽科・豊かな表現を目指して②

【事例におけるICT活用の場面①】



【場面①におけるICT活用のポイント】

学習支援ソフトに配布された課題や資料を確認し、ICT端末で「花」の演奏を鑑賞する。鑑賞を通じて知覚・感受したことを、楽譜ファイルに書き込むとともに、学習支援ソフトで交流することで、意見交流の共有性を高めている。

ヘッドセットを用いて、自身が聴きたい部分を選び、繰り返し鑑賞することができるようにしている。

自分の歌っている様子を撮影し、自身のパートの音程やリズム、表現したいイメージの通りになっているかどうか聴くことを繰り返し行う。自身の表現の振り返りを学習支援ソフトに入力することで、よい点や改善点について、相互交流することができるようにしている。

【場面②におけるICT活用のポイント】

生徒が撮影した演奏（実際の演奏含む）の様子や、書き込んだ楽譜ファイルの記述、ポートフォリオ等の書き込みを基に、教師は自身の表現したいイメージ（思いや意図）に合っているか問う。個別の指導・支援が必要な生徒に対しては、適切なフィードバックを行うことができるようにしている。

【事例におけるICT活用の場面②】



【活用したソフトや機能】 学習支援システム, 動画撮影